加　佐

学校だより　７月号
令和４年７月１日
舞鶴市立加佐中学校
TEL 83-0004　FAX 83-3201
https://kasa-maizuru. edumap. jp/

盛夏の候　保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。日頃より、本校教育にあたたかいご理解・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。とりわけ、校区の児童民生委員様・観光協会様をはじめたくさんの皆様方にご支援頂いた「花いっぱい運動」や「神崎浜清掃」では、５月の校外学習・職場体験学習に続いて、地域社会で生徒が体験的に学び・貢献する貴重な機会となりました。コロナ後を展望し、弾みになります。

さて、１学期もいよいよ最終月、終業式まで残すところ20日となりました。11日からの部活動強化週間を経て16日には中丹総合体育大会予選大会を迎えます。過日の市民スポーツ祭で得た糧をどう活かすのかも勝負の見どころです。「総括テスト」が終了し、生徒たちは次の目標である「中丹予選大会」や「ＮＨＫ全国学校音楽コンクール」「社会を明るくする大会」等に向けて練習に励みます。感染防止・熱中症防止に配慮しながら鍛えあい高めあう生徒たちへの応援をよろしくお願いします。

先行実施された中丹バドミントン大会

未来を拓く力！　Competency　*Social and Emotional Skills*　生きる喜び！

幼いころ、誰しも「大人はいいよな～。」と感じた経験があるのではないでしょうか。実際に大人になってみれば、守るべき対象や果たすべき責務を多く抱えた中で「大人って本当にいいもんですね！」と往年の映画評論家のように、そう毎回しみじみと語れるわけではありませんが、全ての大人は次代を担う子供たちに、より良く生きようとする姿、将来へとつながる多様なロールモデルを提供する義務があります。

中学生ともなれば、身近な大人の苦労や悩みもある程度捉えられるようになってきます。身近な大人が子どもたちに、様々な困難への粘り強い対処も含め、人生は決して苦しいときばかりではないこと「自分も頼れる大人になる」「こんな仕事をしたい」「家族ってありがたい」と感じられる肯定的なイメージを背中で伝え続けることが、その後の成長やモチベーションにどれほど影響するか容易に想像できます。学校ならば「自分も、こんなに素敵な授業で子どもたちと学びたい！」「部活の顧問って、やりがいがありそう！」「先生の仕事、尊い！」等のイメージアップは一挙両得です。

生徒の身近な大人として先生たちも、１学期の締めくくりに向けて高まる気温に負けない、熱い「背中」のみせかたに磨きをかけています。

保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申しあげます。くれぐれもお体を大切に、どうぞご自愛ください。

舞鶴市立加佐中学校　校長　福本 浩介　　教職員一同

より良い学校教育で、より良い社会をつくる